

水害版BCP策定セミナー(第2回 開催概要)



土佐川・庄内川流域水害協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和4年10月6日、水害版BCP策定セミナー 第二回「被災経験、BCPを次の経営に繋げる（事例報告）」を開催しました。本セミナーは、流域治水プロジェクトの一環である水害発生時の企業の被害最小化および早期復旧を目指し、水害版BCPを多くの企業に策定してもらうことを目的としています。

第二回となった今回は、東海豪雨での被災経験を踏まえたBCP策定に取り組まれている企業経営者にご講演を頂き、続いて中小企業基盤整備機構のアドバイザーと企業経営者とのトークセッションでは、BCPを策定した当時を振り返りながら事業継続力強化計画策定支援への理解を深めました。最後に第三回セミナーで必要な「BCP策定に必要な諸データの取得方法」について、事務局より説明しました。

日時：令和4年10月6日（木）14時～
場所：名古屋商工会議所 第一会議室
（オンライン併用）
主催：中部地方整備局庄内川河川事務所、
中部経済産業局
後援：名古屋市、名古屋商工会議所
参加者：13企業、1大学 計26名
（対面：12名、オンライン：14名）



オンライン(Teams)と併用で開催

＜式次第＞

開会挨拶：庄内川河川事務所 事務所長 蘆屋 秀幸

①東海豪雨の経験を事業継続に活かす
～被災経験、BCPを次の経営に繋げる～
講演：菊谷生進堂(株) 代表取締役社長 菊谷 勝彦

②事業継続力強化計画策定支援について
～アドバイザーと菊谷社長とのトークセッション～
講演：菊谷生進堂(株) 代表取締役社長 菊谷 勝彦
中小企業基盤整備機構 アドバイザー 仲保 吉正

③BCP策定に必要な諸データについて
講演：パシフィックコンサルタンツ(株)(セミナー事務局)
防災事業部 危機管理室 室長 飯田 進史

＜開会挨拶＞

先月9日には台風15号の影響で、静岡県付近で線状降水帯が発生し、道路崩壊による孤立集落や断水が発生した。これを受け、庄内川河川事務所からもTEC-FORCE隊4名を被災地に派遣し、被害調査等を行った。

このように、水害はいつどこで発生するか分からないからこそ、

BCP策定の重要性をあらためて認識した。本セミナーを踏まえ、是非、BCPの策定に取り組んで頂きたい。



庄内川河川事務所 事務所長 蘆屋 秀幸

◆ 開催後アンケート（抜粋）

- ・ 実体験からどのようにBCPを計画していくのかが分かり、非常に参考になった。単体ではなく（他企業と）連携でリスクを回避するという考え方が参考になった。
- ・ 企業単独での難しさ、それをサポートする中小機構の考えを聞くことができました。このようなセッションは必要だと感じました。

◆ 今後の開催予定

第三回 BCP作成ワークショップ

開催時期：11～12月頃

- ・ BCP作成支援ツールを活用した簡易BCP作成ワークショップ

＜講演者＞
パシフィックコンサルタンツ(株)

＜講義①＞東海豪雨の経験を事業継続に活かす

菊谷生進堂(株)の菊谷社長より、東海豪雨被災時の状況、事業建て直しのプロセス、被災経験を活かした業態の分散化、他企業との連携BCPの策定等についてご講演を頂きました。



菊谷生進堂(株) 菊谷 勝彦

＜講義②＞事業継続力強化計画策定支援について 菊谷社長と仲保アドバイザーとのトークセッション

菊谷生進堂(株)のBCP策定に携わった中小企業基盤整備機構の仲保アドバイザーと菊谷社長による、BCP策定当時の苦労や工夫点を振り返りながら、事業継続力強化計画策定支援についてトークセッションを行いました。質疑応答の場面では、避難時における企業と地域連携の在り方や、今後、菊谷社長がBCPの中で重点的に取り組む項目などについて、活発な議論が行われました。



中小企業基盤整備機構 仲保 吉正

トークセッションの様子

左：菊谷生進堂(株) 菊谷氏
右：中小企業基盤整備機構 仲保氏

＜講義③＞BCP策定に必要な諸データについて

水害版BCPを策定する際に必要な、水害リスクの調べ方や、防災情報の入手方法について、事務局のパシフィックコンサルタンツ(株)より解説しました。



パシフィックコンサルタンツ(株) 飯田 進史